

指定入力

指定入力とは当社「棚センサーライト」を巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

- ・下巻きをしない場合
- ・データ一覧表に記載されている号数および巻き糸量の場合

道糸をレベルワインドに通してスプールの面に結んでください。

付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

パワーレバーをOFFまで戻します。

リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、最後まで道糸を巻いてください。

道糸は約1kgのテンションで巻いてください。巻き終わりに糸を巻き込まないように注意してください。フィンガーガードに糸が当たると、リールが傷つくことがあります。糸が当たらないようご注意ください。

表示が 0.0 のときに

底から/棚メモスイッチと

モード(チョイ巻き)スイッチを

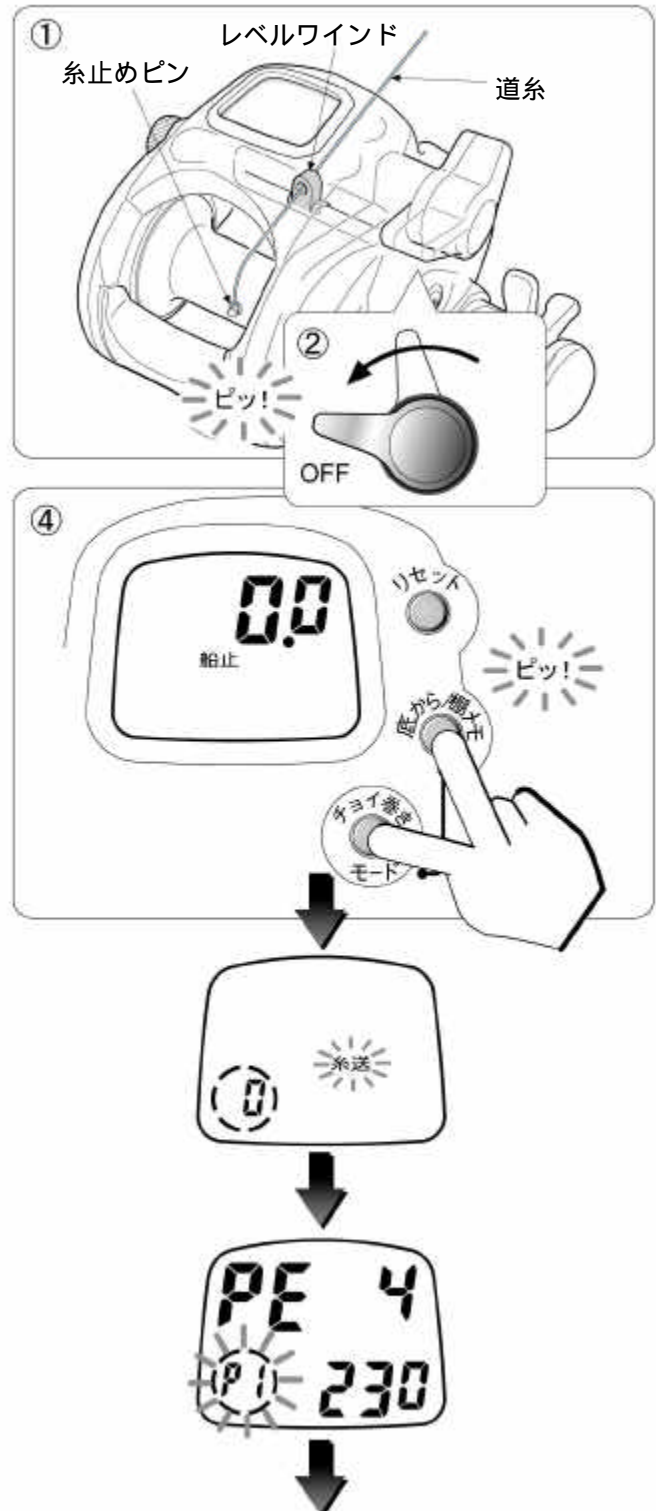
同時に6秒間押し続けてください。

ライン設定画面になります。

2秒で糸送り画面、さらに押し続けると道糸設定画面になります。

初期設定PE 4号 - 230mの画面になります。

($P1$ が点滅します。)



パワーレバーで数値をセットしてください。

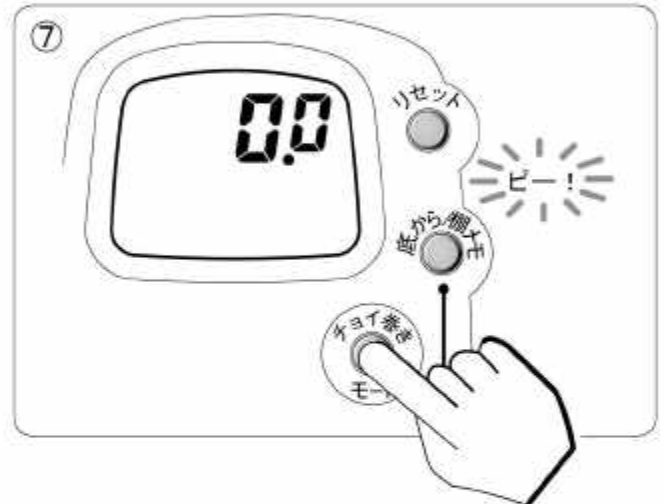
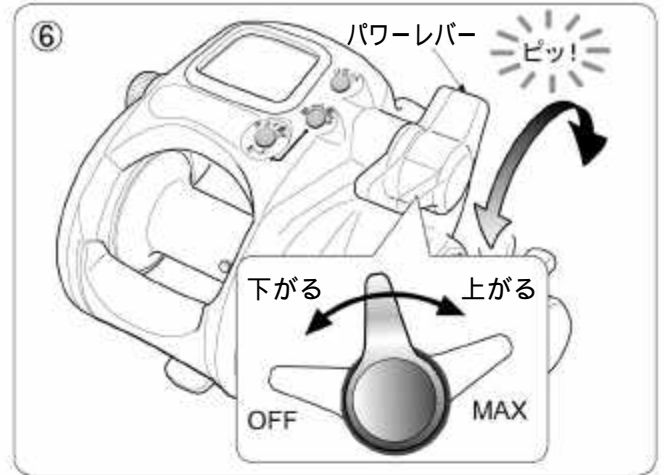
- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値が下がります。

パワーレバーで数値がセットできたら、**モード(チョイ巻き)**を押して完了です。

(0.0)に戻ります。

下表はデータ一覧表を示します。

3号	4号	5号
-	100m	100m
200m	200m	150m
300m	230m	-



便利

シーボグ250FBには、あらかじめ「柵センサーブライト」4号 - 230mのデータが入力されています。「柵センサーブライト」4号 - 230mを巻く場合は、データの输入は不要です。

別の入力方法 ~以下のような方法でも、テンションを確認しながら入力が可能になります。

道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

指定入力のを参照してください。

指定入力モードにします。

指定入力のを参照してください。

パワーレバーで糸の太さ、長さを選択して**リセット**スイッチを2秒以上押してください。

パワーレバーで巻き取りが可能になります。

テンションを調整して、パワーレバーを MAX の位置まで倒し道糸を巻きます。

パネル左下の数字が4～5になるようにテンションを調整して巻いてください。

安全のため、表示長さのおよそ5%手前で電動巻き取りが自動停止し、巻き込みを防止します。

(ついうっかりの巻き込みを防止します。)

巻き込みに気を付けて、最後まで糸を巻き取り、**リセット**スイッチを2秒以上押せば、入力完了します。

糸長入力「リールに巻く糸の長さがわかる」編

リールに巻く糸の長さがわかっているときの、便利な方法です。

道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

パワーレバーをOFFまで戻します。

リールを通电させてください。
ここまでは、指定入力の ~ を参照してください。

表示が **0.0** のときに

底から/棚メモ スイッチと

チョイ巻き スイッチを同時に

6 秒間押し続けてください。

2 秒で糸送り画面、さらに押し続けると道糸設定画面になります。

初期設定画面になります。

(**P1** が点滅します。)

モード (チョイ巻き) スイッチを
1 回押して入力画面にします。

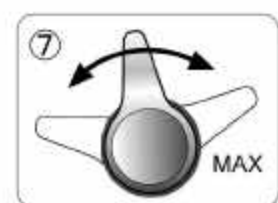
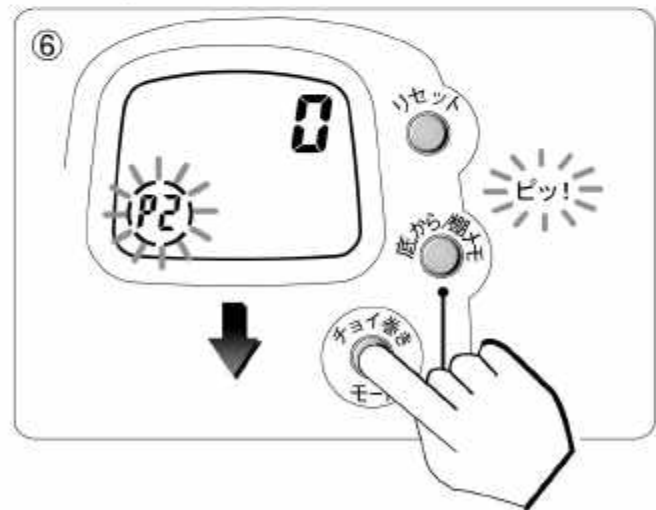
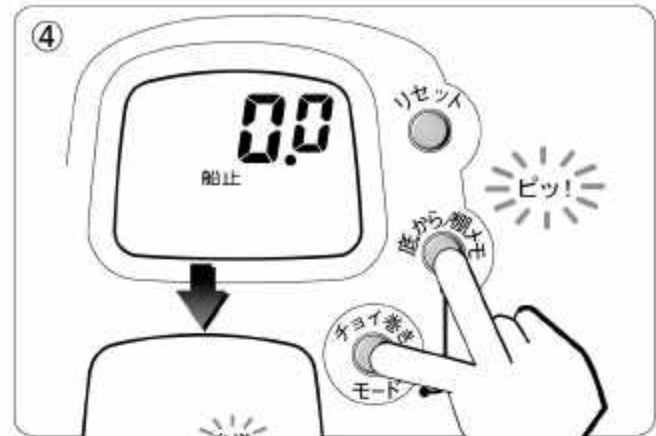
(**P2** が点滅します。)

テンションを調整して、パワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

パネル左下の数字が 4 ~ 5 になるようにテンションを調整して巻いてください。

フィンガーガードに糸が当たると、リールが傷つくことがあります。

糸が当たらないようにご注意ください。



巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。

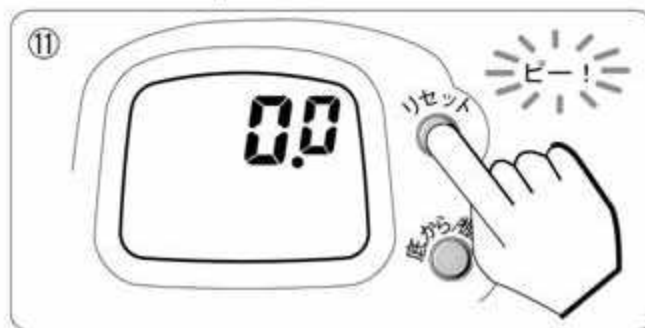
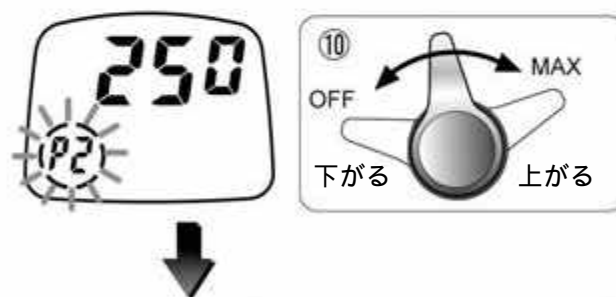
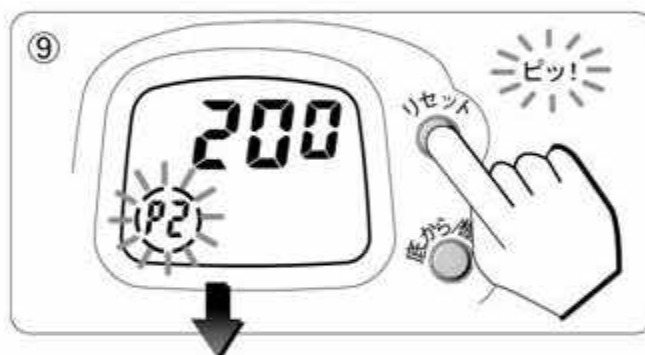
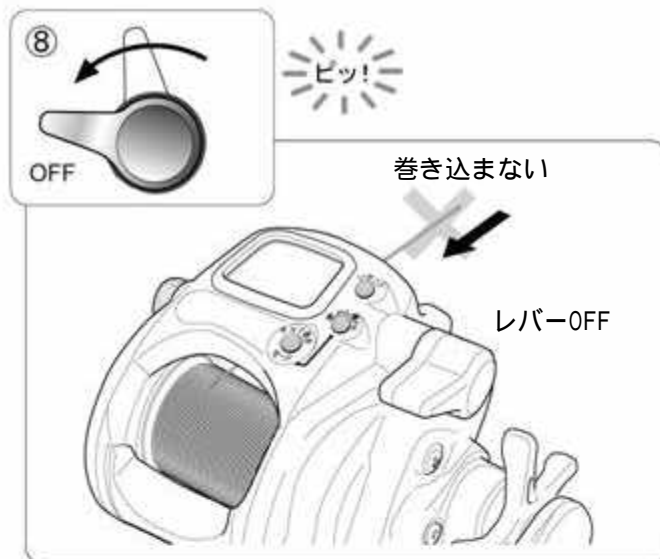
リセットスイッチを2秒以上、表示が**200**になるまで押してください。

パワーレバーで、道系の長さをセッ
トします。

(図は、**250** 入力した場合です。)
(セッとする数値は、10m単位です。)

リセットスイッチを2秒以上押し
てください。

(アラーム音が鳴り、表示が**0.0**になれば完了です。)
Err になった場合は、再度入力をしてください。

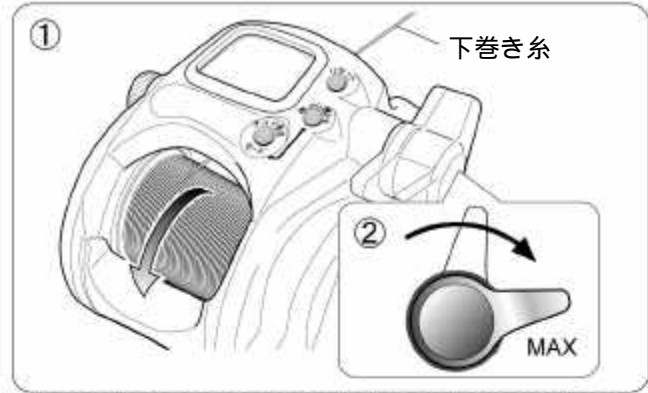


下巻き入力の方法

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

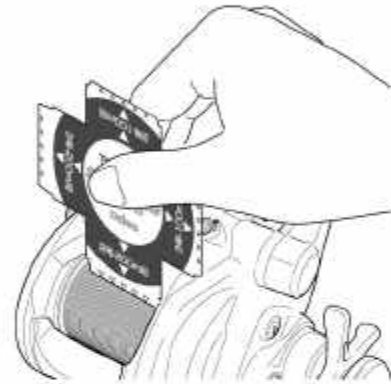
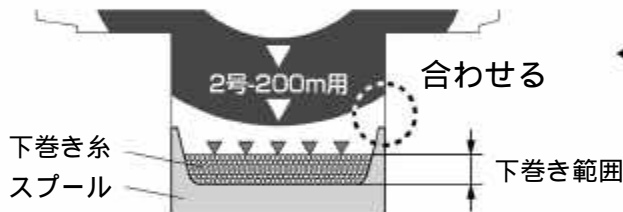
下糸をレベルウィンドに通してスプールの結び、通電させます。
詳しくは「指定入力」をご覧ください。

パワーレバーをMAXの位置まで倒し、
下糸を適量まで巻いてください。
「下巻き目安ゲージ」もありますので、ご使用ください。
フィンガーガードに糸が当たると、リールが傷つくことがあります。当たらないようにご注意ください。



「下巻き目安ゲージ」の使い方

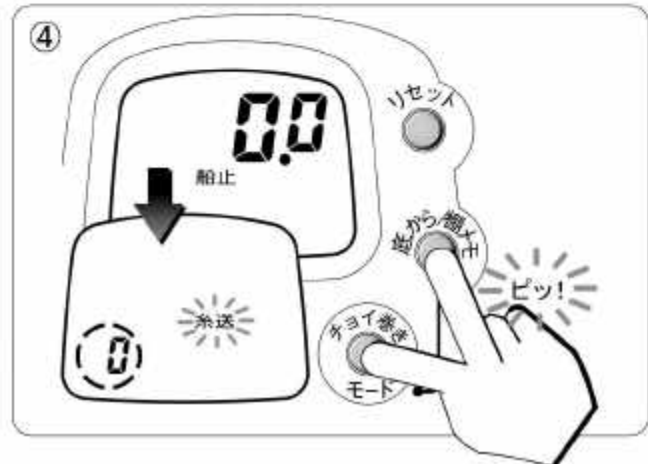
「下巻き目安ゲージ」を図のように差し込みます。
使用する号数を選んでください。
スプールの外周にゲージを合わせて下糸を適量まで巻いてください。

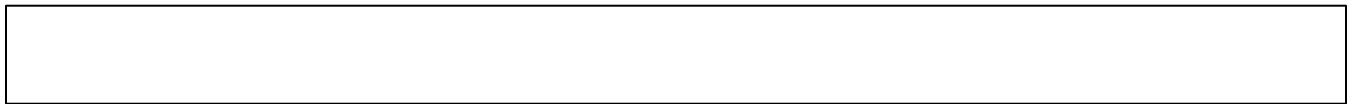


道糸と下糸を結び、道糸の色を見ながら残り100mまで巻き取ります。
用意した下糸量が100mの場合は、へ。

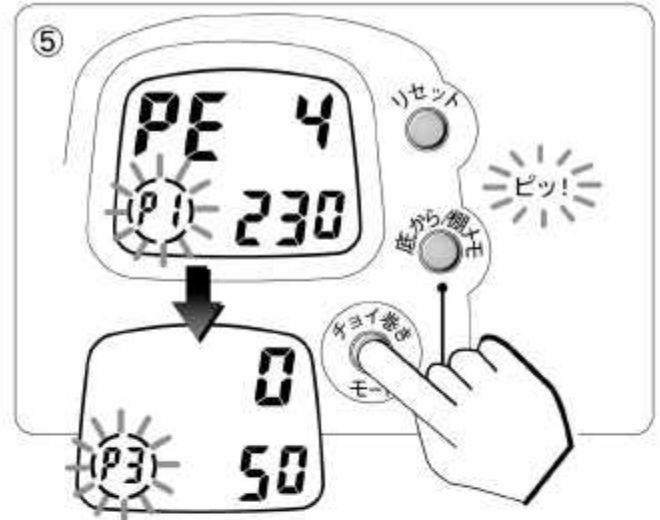


表示が0.0のときに
底から/棚メモスイッチと
モード(チョイ巻き)スイッチを
同時に6秒間押し続けてください。
2秒で糸送り画面、さらに押し続けると道糸設定画面になります。

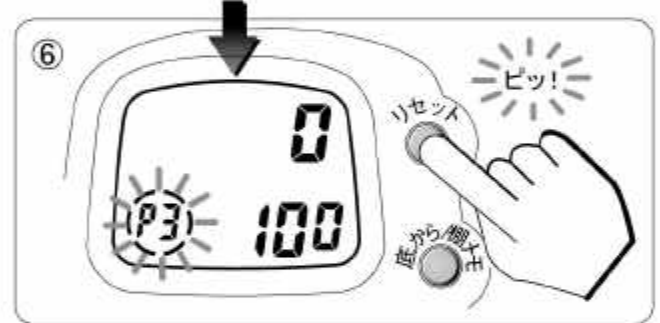




モード(チョイ巻き)を2回押して
下巻き入力画面にします。
(P3が点滅します。)



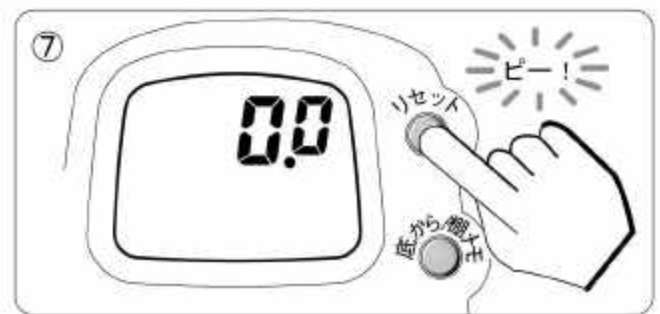
道糸の色に注意しながら50m巻き取り、
リセットスイッチを2秒以上押し
してください。
(下の数字が50 100 に変わります)



パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整
して巻いてください。



同様に残りの50mを巻き、
リセットスイッチを2秒以上押し
してください。
(表示が0.0となり、完了です。)
(Errになった場合は、再度入力をしてください。)



・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、最後はハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。下巻き入力にて入力した場合は、100mを超える範囲では、糸長を表示しない場合があります。